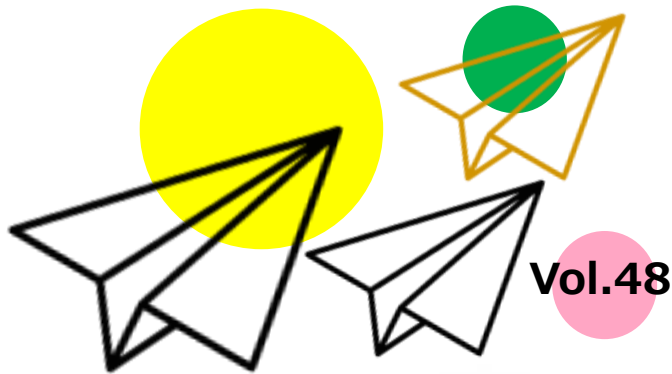


B-GROOW NewsLetter



Message From SORA

B-GROOW (ビーグロー) の空でございます。

沈丁花の甘く爽やかな香りに春の訪れを感じる頃となりました。

先月は全国的に寒暖差が激しく、日によっては東京の都心部で15℃以上、愛媛では20℃前後の気温差があったそうです。気温差による不調は、自律神経が過剰に働き疲労がたまり引き起こされるため「寒暖差疲労」とも呼ばれています。適度な睡眠をとる、ウォーキングや合間に軽いストレッチを行う等心がけることで自律神経が整いやすくなるそうです。季節の変わり目で体調管理が難しい時期ですが、ベストパフォーマンスが発揮できるようコンディション作りを大切にしていきたいものです。



空直美

会社の「健康診断」されていますか？

みなさまは毎年健康診断に行かれていますか？私たちの身体と同じで、会社にも健康診断が必要です。今回は会社の健康診断「社員満足度調査」について考えます。

■ 社員満足度調査とは

社員満足度（ES）とは“Employee Satisfaction”の略称で、従業員の職場に対する満足度を指します。社員満足度が高いと社員は仕事に対してより意欲的になり、生産性が高まります。一方、社員満足度が低いと、モチベーションやエンゲージメントの低下、離職率の増加、業績の悪化などの可能性が高まります。

そこで、社員の満足度を測定しよう、という発想から生まれたものが社員満足度調査です。

■ 社員満足度調査の効果とは

私たちの身体にとって健康診断は、病気の予防・早期発見・早期対応のために非常に大切です。会社も同様、健康診断（＝社員満足度調査）を行うことで、問題が大きくなる前に対応することができるのです。

社員満足度には、給与や福利厚生、業務内容、精神的な充実感などさまざまな点が影響を及ぼします。調査を行うことで、会社は改善点が何かを見つけ、対策を講じることができます。

対策を講じることにより社員のモチベーション向上に繋がり、離職防止や生産性向上などの効果が見込まれます。



■ 動機づけ要因と衛生要因

「ハーズバーグの二要因理論」はアメリカの臨床心理学者が提唱した、職務満足・不満足を起こす要因に関する理論です。「動機づけ要因」が満たされると満足につながる一方、「衛生要因」は満たされても満足にはつながらないが不足すると不満につながるというものです。

調査を行うことで、会社の課題があるのは動機づけ要因なのか、衛生要因なのか、またその両方なのか、などということも明らかになります。

動機づけ要因	衛生要因
・達成感 ・承認 ・仕事そのもの ・仕事への責任 ・昇進 など	・会社の方針 ・上司の監督 ・給与 ・人間関係 ・労働条件 ・作業環境 など

■ 社員満足度調査を行う際の留意点

社員満足度調査は、社員の率直な意見を収集してはじめて効果を発揮します。そのため、調査を行う際には、以下の点に留意する必要があります。

- 調査の目的と必要性を明確に伝えること
- 匿名性を保つこと
- 具体的で分かりやすい質問を用意すること

■ おわりに

株式会社B-GROOWでも社員満足度調査の実施が可能です。3月31日までのお申込みでお得なキャンペーンを実施中しております。お気軽にお問い合わせください。

👉 ご案内はこちらをクリック 👉

<https://www.b-groow.com/wp-content/uploads/6a9e0c35a64420d7c7e5c662b7d1fe99.pdf>

(アソシエイトコンサルタント 平田千佳)

前号に引き続き『スタートアップ』について考察します。『スタートアップ』とは、社会を変える革新的なアイデアで、新たなビジネスを生み出し、短期間で急成長する企業を指します。米国では、GAFAM (Google、Amazon、Facebook、Apple、Microsoft)のようなかつては『スタートアップ』であった企業が大きく成長し経済を牽引しています。では、日本では『スタートアップ』はどのようにとらえられているのでしょうか。

■ 『スタートアップ』への期待

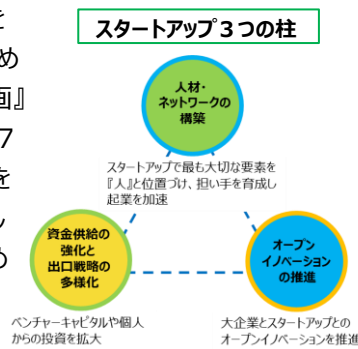
現在の日本は、人口減少や少子高齢化、労働生産性の低迷といった数多くの課題があり、1人当たりの生産性を高めなければ経済成長が望めない状況にあります。この状況下で技術革新を担う『スタートアップ』が果たす役割は大変大きいといえます。

■ 日本で『スタートアップ』は育っているか

スタートアップの中でも創業10年未満で時価総額10億ドル超の未上場企業を『ユニコーン』といいます。『ユニコーン』は上場後、大企業に成長する可能性が高い企業だと言われています。2022年の米調査会社の報告によるとユニコーンの数は、米国が633社、中国が173社ですが、日本は6社に留まっています。また、2021年のベンチャーキャピタルの投資額も米国では1.71万件36.2兆円に対し日本は0.14万件0.23兆円となっています。日本は先進国の中でもスタートアップへの投資額が少なく、起業家が育ち辛い環境にあるといえます。

■ スタートアップ育成5カ年計画

そこで日本政府は2022年を『スタートアップ創出元年』と定め『スタートアップ育成5カ年計画』を発表しました。5年後の2027年にスタートアップへの投資額を10倍にすることを最大目標とし右の図のような3つの柱が定められています。



■ おわりに

日本人は安定志向が強いうえに、起業は手続きが煩雑で、上手くいかなかった場合の再就職も容易ではありません。「起業がしにくい」現状を変えていくには、多様な価値観を受け入れ、チャレンジを評価することが大切ではないでしょうか。

参考：内閣府『スタートアップに関する基礎資料集』

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/bunkakai/suikusei_dai1/siryou3.pdf
経済産業省『スタートアップの力で社会課題解決と経済成長を加速する』

https://www.meti.go.jp/policy/newbusiness/meti_startup-policy.pdf

(コンサルティングアシスタント 香月裕美)

株式会社 B-GROOW

〒813-0017

福岡県福岡市東区香椎照葉3-3-1-2825

TEL 092-405-2769 FAX 092-405-3579

2024年度 新入社員研修 好評受付中です!!

(株)B-GROOWでは、以下の日程で
新入社員研修を開催いたします!!



1日目：4月2日(火) 10:00-17:00

【意識改革・経営知識取得編】

2日目：4月3日(水) 10:00-17:00

【ビジネスマナー編】

※ 会場は福岡商工会議所です。

※ 参加費は2日間で20,000円(税込)です。
1日のみの参加も可能です。

本研修で大切にしていることは、「自主性を身に付けること」です。自ら率先して考え、行動できる力のことです。

各地で新入社員研修を担当させていただいていますが、近年の新入社員の傾向として、基本的に受け身スタンスで、自ら率先して行動することに、躊躇する方が増えている印象があります。「自主性」は、これからの長い社会人生活において、欠かすことのできない必須スキルの一つです。本研修では、グループワークや発言の機会をふんだんに取り入れております。自ら発信できたという成功体験をとおり、自主性を高めるお手伝いができればと感じております。

また、他の受講生から刺激を受けることができるのも、本研修の醍醐味です。他社の「同期」と共に、成長する機会にしてみたいいかがでしょうか？

お申込みはこちらから

下記URLまたは右のQRコードからお申込みいただけます。

<https://share.hsforms.com/1JvZMkfVjTxI4wdBMVHvCpQ4h5vi>



まだお席に余裕がございます。定員になり次第、受付終了となりますので、お早めのお申込みをお待ちしております!!

(文責：コンサルティング事業部 久保 京子)

編集後記

弊社の新入社員研修では、新卒の方以外も大歓迎です。ここ数年のコロナ禍で対面での新入社員研修を受講できなかった方や受講の機会に恵まれなかった方にもご参加いただいております。この機会にぜひ受講を検討いただけますと幸いです。

(編集担当 香月裕美)

Mail sora@b-grow.com

HP <https://www.b-grow.com>